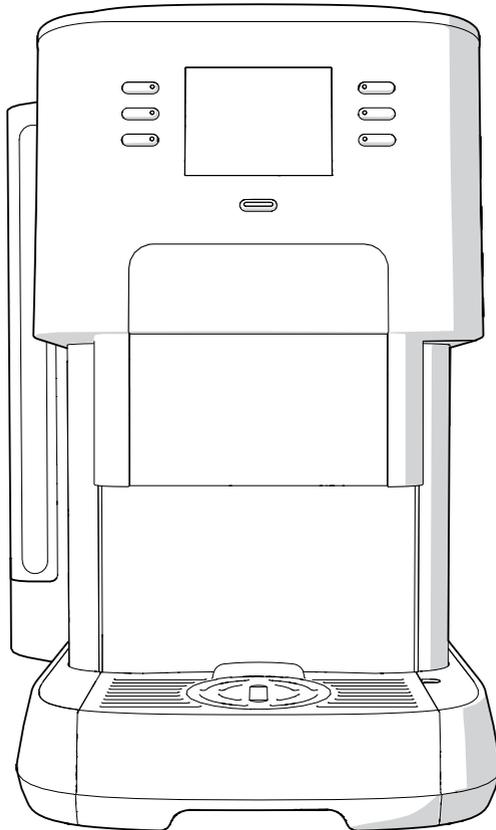


MARS
drinks

MARS DRINKS™
マースドリンクス フラビアクリエーション500
FLAVIA CREATION® 500
User Guide
取扱説明書



www.marsdrinks.jp

目次

	ページ
安全上の注意	1-2
各部の名称	3
ブルーワーカーのセットアップ	4-5
適切なカップの選択	6
フラビアクリエーション500でおつくりになれるドリンクの種類	7
ドリンク抽出方法 (1パックドリンク: コーヒー・ティー・ココア).....	8
ドリンク抽出方法(2パックドリンク: カプチーノ・ラテ・カフェモカ).....	9
毎日のお手入れ	10
週ごとのお手入れ	11
ブルーワーカー使用状況(杯数)の確認	12-13
水タンクの排水	13
トラブルシューティング(故障かな?と思ったら).....	14-15

安全上の注意

通常のご使用時の注意

ここに表した安全に関する注意事項は、ご使用者や周りの方々への危害や損害を未然に防止し、本ブルーワーを正しくご使用頂くためのものです。よくお読みになり、お守りくださるようお願いいたします。

- ブルーワー本体の最大重量に耐えることができる安定した台の上、もしくはそれに相当する場所に設置してください。使用方法をよく知らない方が使用する場合は、操作に慣れた人と一緒に使用するようにしてください。誤った使用方法により怪我や感電、火災の原因になる場合があります。
- やけどやけが、感電防止の為、本ブルーワーの使用方法が分からない方、体のご不自由な方、または操作に不安な方が使用される場合は、操作に慣れた人と一緒に使用するようにしてください。お子様の日一人での操作はおやめください。またむやみに本ブルーワーを操作しないようご注意ください。
- 戸外に設置しないで下さい。この機器は室内専用です。
- 改造は危険です。絶対に行わないで下さい。火災やけがの原因になります。何かご依頼事項がありましたら、ご契約先のマースドリンクス(フラビア)販売代理店までご相談下さい。
- 電源コード/コンセントと給水ラインは距離を取ってブルーワーを設置してください。また、これらをすぐに確認できるように、ブルーワー裏側にすぐに手が届くようにしてください。
- ご自身でブルーワーの修理を行うことがおやめください。機器の保守修理は必ずご契約先のマースドリンクス(フラビア)代理店にご依頼ください。不十分な知識の元で行った場合、故障やけがをする場合があります。
- ブルーワーを水に浸さないでください。
- 本書に記載されている方法でブルーワーのお手入れをお願いします。
- 水が飛び散る場所には設置しないで下さい。また、本ブルーワーは高压洗浄機にて洗浄しないでください。
- ブルーワーを移動する際には水タンクの排水を行ってください（一定期間使用せず保管する場合は湯タンクの排水も実施してください）。ブルーワーは横にせず、立った状態で保管/移動してください。気温/室温が0℃以下の寒い場所にブルーワーを保管・移動する場合には、前もって水タンク・湯タンクの両方に対し排水を行ってください。また、0度以下の寒い場所からブルーワーを室内に持ち込んだ場合には、結露防止の為少なくとも2時間室内に放置した後に電源を入れてください。ブルーワー内の水が凍った場合には水漏れの原因だけでなく、機材が故障する場合があります。
- 本ブルーワーは製造時に各種電気試験を実施しております。むやみに電氣的なテストをブルーワーに実施しないでください。絶縁性能が失われる場合があります。
- お子様や高齢の方、又は体の不自由な方が本ブルーワーをご使用になる際には、操作に慣れた方と一緒に使用するようにしてください。
- 推奨する室内温度は5℃～30℃になります。
- 本ブルーワーは製造時に各種電気試験を実施しております。むやみに電氣的なテストをブルーワーに実施しないでください。絶縁性能が失われる場合があります。
- 本ブルーワーの騒音レベルは70dB以下になります。

ブルーワー電源と電源コードについて

- 電源コードとプラグは、改造行為や・重量物や熱い物を載せる・曲げる・引く張る・ねじる等の損傷を与えないよう、お気を付け下さい。損傷した状態で使用すると、電源ショートや火災の原因となる場合があります。修理・交換が必要な場合には、ご契約先のマースドリンクス(フラビア)代理店にご連絡下さい。
- トラッキング火災防止のため、電源プラグ部分は定期的に清掃して下さい（電源プラグを抜いて、電気を通さない乾いた布で清掃して下さい）
- 安全のため、ブルーワーに対し必ずアース接続（接地処理）を実施してください。アース接続処理を行わない場合、感電の原因になる場合があります。
- 電源プラグは確実にコンセントに接続して下さい。損傷がみられる電源プラグは、感電の原因もしくはプラグが発熱して火災の原因となることがありますので使用しないでください。
- 感電やブルーワーの故障の原因になりますので、電源コードに損傷がある場合には、そのブルーワーは使用しないようお願いいたします。また、電源コンセントについても破損が見られた場合は使用しないでください。
- ブルーワーは壁の単一コンセントから直接電源を取ってください。タコ足配線での使用はおやめください。他の電化製品と一緒に接続されていない環境で使用してください。他の電気製品と一緒に使うと、電源ケーブルが熱を持ち火災の原因となる場合があります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないで下さい。感電の原因となります。

安全上の注意

水道直結・外部タンク式で使用する場合

水道直結もしくは外部タンク式でブルーワーをご使用になる際、お水が硬水の場合、もしくはお水のカルキ臭さを取りたい場合には浄水フィルター（イオン交換樹脂式・活性炭式）の使用を推奨いたします。

- 加え、以下の要件を満たす環境でご使用ください。
- ブルーワー後方のバルブ径は3/4(呼び径20)になります。
- 水道直結/外部タンク式の水圧は、0.1 Mpa(15 psi / 1 bar) から 0.68 Mpa (100 psi / 6.8 bar)の間にしてください。
- 水流は1分につき250 ml(0.25リッター)以上流れるようにしてください。
- お水は冷水でナトリウムが入っていないものを使用してください。
- 設置する先の地域の水道に関する規制を守って設置してください。
- コンタミネーション防止の為、接続部品にコンパウンドを使用しないでください。PTFEテープのみ使用できます。
- 電源コンセントの直上、もしくはきわめて近い場所に給水ラインが来ないようにしてください。

法規制への適合について

本ブルーワーは、日本国内の各種法規制への適合を確認しており、それらに基づいて設計、製造を行っております。また、本ブルーワーは米国FCC規制に基づき、本ブルーワーを使用する際には、以下の条件があります。(1)本ブルーワーは（他の電気機器に影響を与えるような）ノイズは出力しておりません。(2)本ブルーワーは他機器からノイズを受信する場合があります。このノイズは、本ブルーワーの意図しない操作により発生するノイズも含まれます。

フラビアクリエーション500の設置

ブルーワー寸法と重量:

高さ 435 mm(43.5 cm) 幅 293 mm(29.3 cm) 奥行 505 mm(50.5 cm)

水道直結もしくは外部タンク式にてブルーワーを運用する場合には、ブルーワー後方に少なくとも72mmの隙間を空けてください。

水タンクが空の場合の機器重量: 13.5 Kg
満水時の重量: 約18.75 Kg

ブルーワーは安定した台の上に設置してください。また上記に書かれた重量に耐えうる台を使用してください。尚、置き台につきましては、弊社推奨の台をご使用になることをお勧めいたします。

電源:

ブルーワーを設置する場所には電源のコンセントが近くにあることを前もって確認してください。迅速かつ効率的に設置できます。

電源供給が安定した電源を使用するようにしてください。また、安全のため、アース付のコンセントに接続して、接地処理を確実に実施してください。

電源定格については、ブルーワー裏側に記載しています（定格電圧/電力、周波数）。必要に応じ参照してください。

壁コンセントに接続できる台数は、1台になります。また接地処理を実施してください。

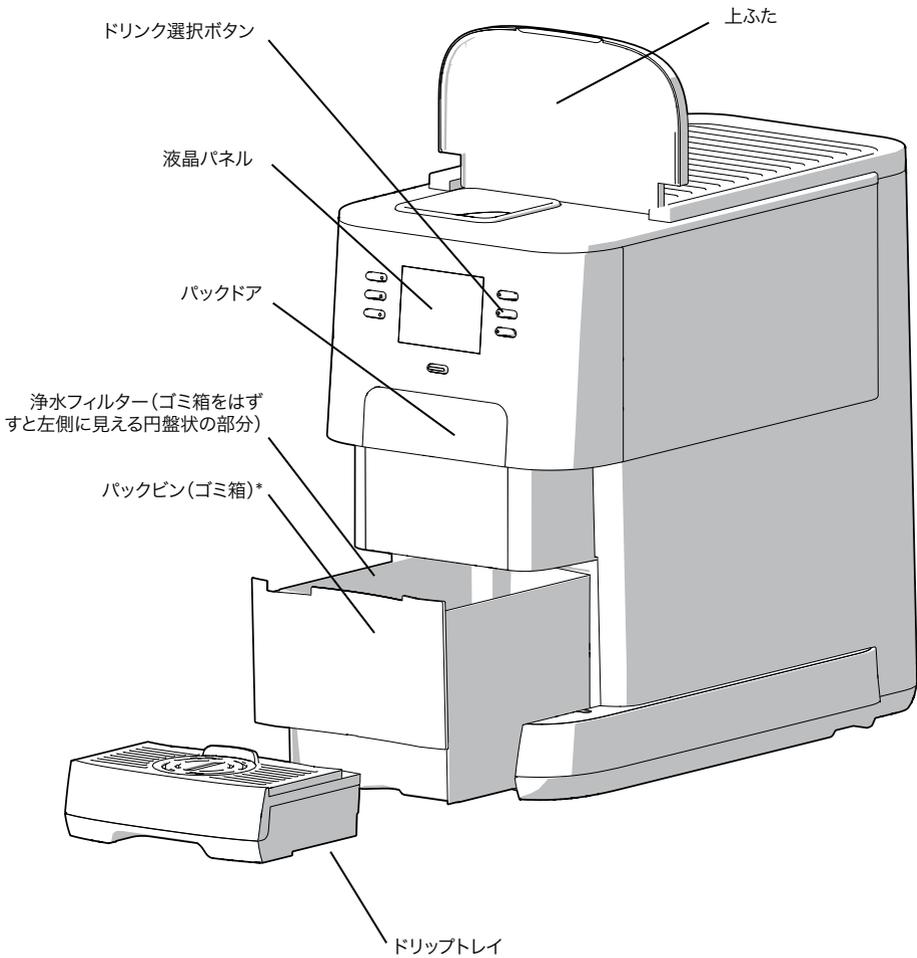
電源ケーブルの長さは約1.75 mです。延長コードの使用は避け、壁コンセントに直接接続してください。

情報

- 設置に関して何かご不明な点がある場合、ご契約先のマースドリンクス（フラビア）代理店にご連絡ください。

各部の名称

本体



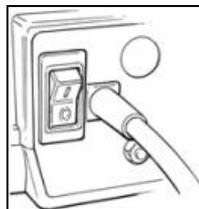
* ゴミ箱は内蔵用(フルピン)と外付け用(ハーフピン)があります。

ブルーワーカーのセットアップ

ご使用前には、各種設定と湯タンクの準備作業が必要です。

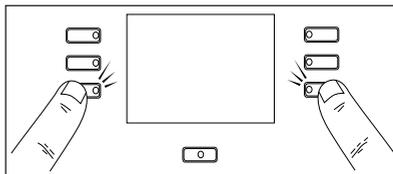
電源を入れる

1. フラビアクリエーション500の電源コードをコンセントに接続します。
2. 背面のON/OFFスイッチで、ブルーワーカーの電源を入れます（"I"ポジション）



オペレーターメニューへ入る

1. 下記図Aのように、右下と左下のボタンを同時に長押しします。同時に押すとボタンのランプが光ります。光らない場合はボタンが同時に押されていないのでやり直してください。同時に押しした後、図Bが表示されます（カウンター画面）。



図A

図Bが表示された後すぐにオペレーターモードのパスワード（デフォルトで右上ボタンを4回）を押します。成功すると図Cのように"ツギへ"(Next) "モデル"(Back)が表示されます。なお、操作には時間制限があり、5秒以内程度で操作しない場合操作を受け付けなくなります。図Cが表示されない場合は、下中央の"Exit Menu"を押して最初からやり直してください。



図B



図C

給水方式の選択

1. オペレーターモードより(図C)、“ツギへ”(Next)を押して、メニュー"キュウスイホウシキ"(Water Supply)を表示させてください。
2. "アゲル"(Edit+) "サゲル"(Edit-)を押し、以下の設定にします。
ピッチャーなどでお水を入れる場合：“マニュアルキュウスイホウシキ”(Jug Filled)
水道直結等、自動給水する場合：“ガイブハイカンホウシキ”(Plumbed-in)



水道直結、外部タンクによる自動給水方式を設定する場合

オペレーターモード内、“キュウスイホウシキ”(Water Supply)内の設定を“ガイブハイカンホウシキ”(Plumbed-in)に変更して下さい。

なお、設定を変更すると同時にブルーワーカーのバルブが開きます(外部タンク式の場合は給水信号が送信されます)。その為、設定変更と同時に水が流れますので変更する際には給水ホースが問題なくブルーワーカーに接続されていることを確認してから実施してください。

水道直結、外部タンク方式にて運用する際には、付属するネジで上ふたを開かないよう出来ます。

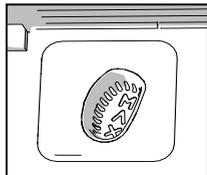
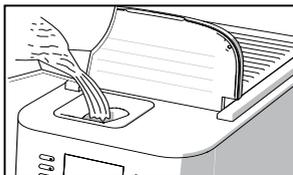
重要：お使いになる際には本書の「安全上の注意」セクションをお読みください。

ブルーワーカーのセットアップ

ピッチャー等を使用し給水する場合

オペレーターモード内、“キュースイホウシキ”(Water Supply)内の設定を“マニュアルキュースイホウシキ”(Jug-Filled)に変更して下さい。

1. 上ふたを開きます。
2. “MAX”と書かれている場所までお水を注ぎます(図D)。尚、給水メッセージが表示された場合、満水するには約6リッターになります。”
3. 上ふたを閉じます。



図D

注意

- 浄水または水道水を使用してください。
- お水をタンクに入れすぎないように注意してください。
- 給水が必要な場合には、画面に給水メッセージが表示されます。
- 入れすぎたお水はパックドア下部からドリフトレイに流れるようになっています。

湯タンクの準備 (設置時のみ)

ブルーワーカーを使用する前には、湯タンクの準備を行う必要があります。この作業では、湯タンク内を満水にします。この作業の後ブルーワーカーは使用できます。

湯タンクの準備の方法 (設置時のみ実施)

1. オペレーターモードを開き(図C)、“ツギへ”(Next)を何度も押して“ホットタンクコントロール”(Hot Tank Control)を表示させます。
2. “ユタンクチュウスイ”(Prime)を押します。押した後に湯タンクの準備が始まります。



図E

ボタンを押した後、ブルーワーカーは湯タンクに注水します。この画面の下方に“HOT TANKS FILLING”が表示されます。その後中央下“Exit Menu”を押してください。約2分後、画面は“WATER HEATING”表示に変わります。

情報

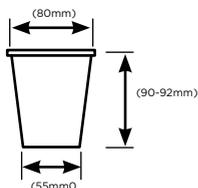
湯タンクの準備時、(水道直結及び外部タンク式で運用している場合)給水動作が途中で一時停止することがあります。これは水タンク内に十分な水が入った時にそのように動作します。何らかの理由により湯タンク準備を中断させる場合は、“Disable”を選択すればすぐに中断することが出来ます。尚、再開する場合は最初から行う必要があります(再度“ホットタンクコントロール”(Hot Tank Control)を押す)。

湯タンクの準備が問題なく終了すると、画面には“加温中につきしばらくお待ちください”(Please wait while the water heats up)と表示されます

湯タンクの加熱が終わると、画面にはドリンクメニューが表示されます。このメニューが表示されればブルーワーカーは使用できます。

適切なカップの選択

1. 推奨紙カップの使用を推奨いたします(詳細はご契約先のマースドリンクス(フラビア)代理店にご連絡ください)が、それ以外のカップを使用する場合は、図Fに準じるカップをご用意ください。なお、下の図Fでは高さ90 mmとなっておりますが、92 mm程度のカップまで入ります。また、カップの重量は5 g以上としてください。
2. マグカップも使用できますが、図Fに似た形状のものを使用してください。
3. 図Fと大きく異なる形状のカップを使用した場合、抽出中の飛び散りが多くなったり、飲み物があふれたりする場合があります。
4. カップに関する詳細をご確認される場合は、ご契約先のマースドリンクス(フラビア)代理店にご相談ください。

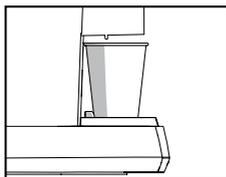
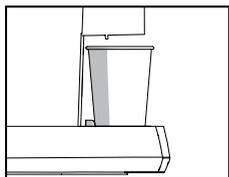


注意

200 mlの容量のカップが、コーヒー/ティーのあふれない最小サイズになりますのでご注意ください。ラテについては、フォーム(泡)が入りますので、少なくとも285 mlの容量のカップが必要です。

図F

サイズの異なる2種類のカップスタンドを使用できます。適切なカップスタンドを選ぶことで、ブルーワ어의汚れを抑制する事ができます。使用するカップの大きさに合わせてカップスタンドを選択し取り付けてください。



低いカップスタンドの対応カップ高:92-104mm
高いカップスタンドの対応カップ高:92mmまで

大きいサイズのマグカップやトラベルマグをご使用になる場合

大きいサイズのマグカップや、トラベルマグを使用する場合には、ドリフトレイを外しその場所にマグを置いて飲み物の抽出を行うことができます。



フラビアクリエーション500でおつくりになれるドリンクの種類

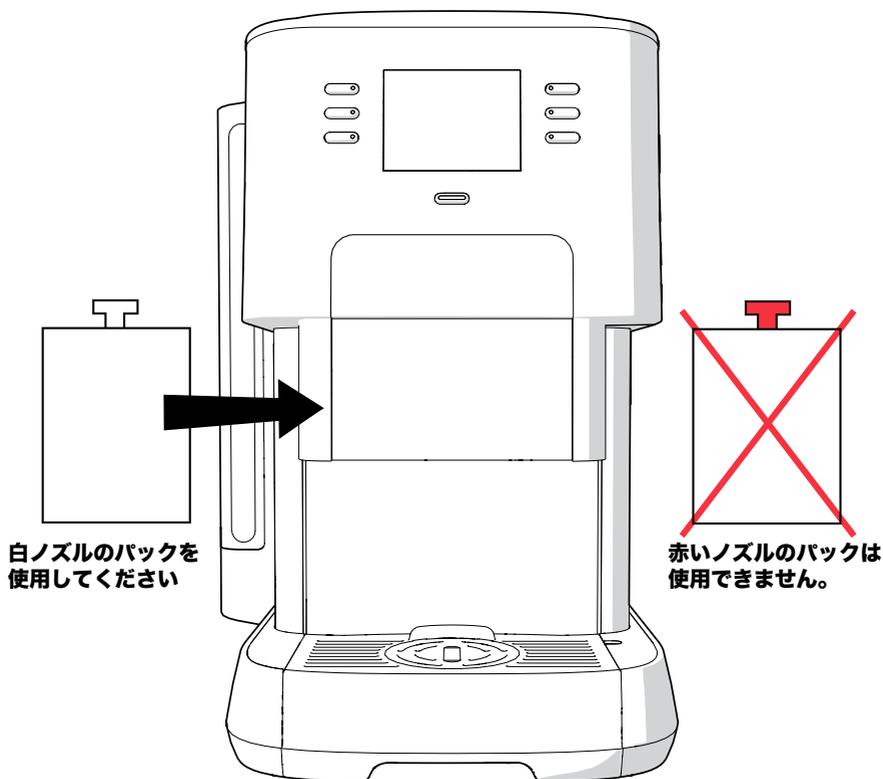
フラビアクリエーション500では、コーヒー、ティー、ココア及びカプチーノ・ラテ・カフェモカをおつくり頂けます。メニュー画面にて飲み物を選択した後、画面には抽出に必要なパックの名称が表示され、パックドアが開きます。

重要

フラビアクリエーション500では、エスプレッソ抽出用のパックは使用できません（赤いノズルのパックです）。これらはフラビアバ리스タ用で、クリエーション500用ではありません。

本ブルーワーで使用できるのは、ノズルの色が白いパックになります。

種類が異なるパックを無理に使用するとマシンが故障しますので行わないでください。



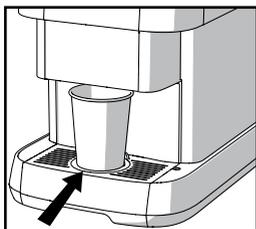
ドリンク抽出の方法 (1パックドリンク：コーヒー・ティー・ココア)

1. コインを投入します（有料販売モードの場合のみ。無料販売モードの場合はステップ2に進んでください）

注意

おつりは出ません。

2. カップをドリフトレイに正しく置きます（後部ストッパーに当たるまでカップを押しして下さい）。



注意

使用できるカップの最小容量は285mlになります。

- 3.

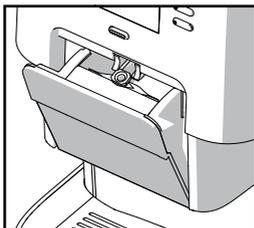
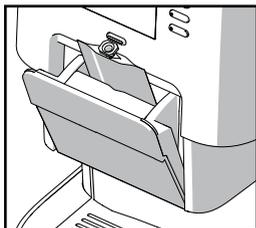


ドリンクカテゴリより、お好みの飲み物を選択します。



コーヒーやティーのサイズ、もしくはその他のドリンクの種類を選択します。”

4. ドリンクパックをパックドアにセットし、ドアを閉めます。



注意

白いノズルのドリンクパックをドアに挿入して下さい。故障の原因になりますので、赤いノズルのパックは使用できません。挿入しないでください。

5. 抽出動作中はカップ近くに手を近づけないようお願いします。

ドリンク抽出の方法 (2パックドリンク：カプチーノ、ラテ、カフェモカ)

2つの異なるパックを使用して、カプチーノ、ラテ、カフェモカをおつくり頂けます。この場合、最初に入れるパックはミルクパック（ふんわりミルク）またはチョコレートパック（ダブ）になります。その後コーヒー又はティーのパックを入れてドリンクを作ります。

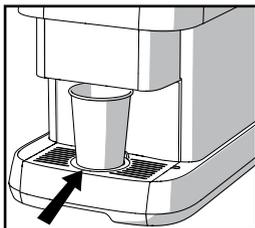
カプチーノ、ラテ、カフェモカの抽出

1. コインを投入します。（有料販売モードの場合のみ。無料販売の場合はステップ2に進んでください。）

注意

おつりは出ません。1杯分の金額が投入された場合、画面上の”お金を入れてください”表示の点滅は消えます

2. カップをドリフトレイに正しく置きます（後部ストッパーに当たるまでカップを押し下さい）。



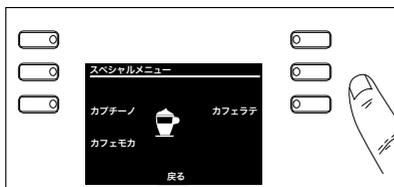
注意

使用できるカップの最小容量は285 mlになります。

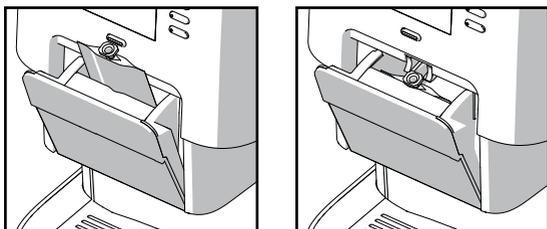
3. “スペシャルメニュー”を選択します。



4. “ラテ” “カプチーノ” “カフェモカ” より選択します。



5. ミルクパックまたはフロスパック、カフェモカを作る場合はココアをバックドアに挿入します。



6. 抽出動作中はカップ近くに手を近づけないようお願いします。

7. ミルクパック、ココアの抽出が完了したら、
コーヒー又はティーのパックをバックドアに挿入します。

8. 抽出したコーヒー／ティーはカップに入ります。尚、ラテ、カフェモカについては、
抽出の最後に飲料をかき混ぜます。

9. 抽出が終わったらお飲み物をお取りください。なお、
お飲み物は熱いのでお気をつけください。

注意

白いノズルのドリンクパックをドアに挿入して下さい。故障の原因になりますので、赤いノズルのパックは使用できません。挿入しないでください。

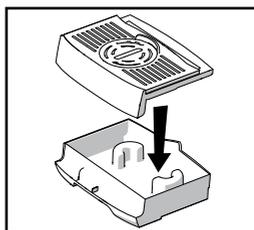
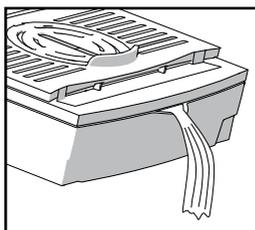
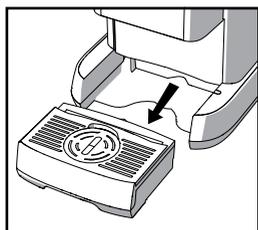
毎日のお手入れ

ドリフトレイの清掃

1. ドリフトレイを取り外し、トレイ内に入っている飲料・水を捨てます。熱い湯の場合がありますのでご注意ください。
2. ドリフトレイを部品別に分けます：ドリフトレイ（下部）・カップスタンド（上部）
3. トレイとスタンドを適温の中性洗剤で洗います。また、ドリフトレイが取り付けであったブルーワーカー側の場所も汚れをふき取ってください。
4. 清掃後は、トレイとスタンドを組み立ててずれないように注意して元の位置に戻します。

注意 ドリフトレイ・カップスタンドは食器洗浄機には対応しておりません。手洗いのみになります。

ブルーワーカー本体には、ドリフトレイ内にたまった液体が一杯になったことを検知する機能はありませんので、適宜確認を行ってください。



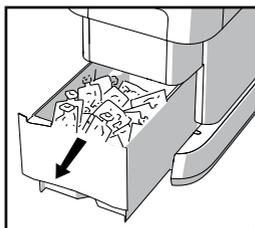
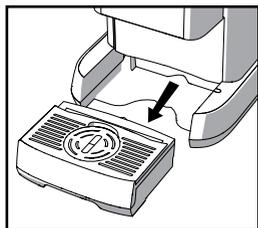
パックビン（ゴミ箱）を空にする

ブルーワーカーのパックビン（ゴミ箱）は毎日空にしてください。なお、ブルーワーカーは予め設定された杯数の飲料の抽出がされると、パックビンを空にするようメッセージが表示されます。

1. ドリフトレイを外してください。
2. パックビンを手前に引き出します。
3. 使用済みパックを捨ててください。
4. 適温の中性洗剤を使用してパックビンを清掃して下さい。
5. パックビンを元の位置に戻します。
6. ドリフトレイを元の位置に戻します。

注意

パックビンを手前に引き出すと、抽出された飲料の数が0になります。パックビンを引き出した際には、使用済みパックは必ず捨ててください。



週ごとのお手入れ

一般的なお手入れ

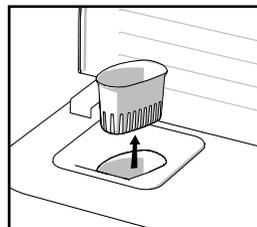
ブルーワーカーの表面、及び手が届くブルーワーカー内側を、水で湿らせたきれいな布巾等を使用して拭き上げます。

注意

強い洗剤は使用しないでください（例：塩素系）。また、せっけん水等、洗剤が水タンク内に入らないように注意してください。

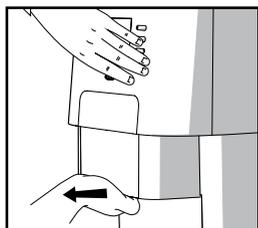
給水口のお手入れ

1. ブルーワーカー前方上部の上ふたを持ち上げ、開きます。
2. 写真のように上ふた内にある給水口の部品を取り外します。
3. 取り外した部品を、適温のせっけん水または湯水で洗浄します。
4. タンク内にせっけんが入らないように、部品はしっかりとすすぎます。
5. 部品を元の位置に戻します。
6. 上ふたを閉じます。

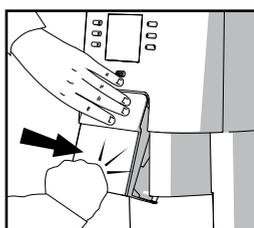
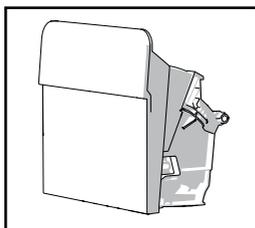


パックドアのお手入れ

1. パックドアの下の方を掴みます。
2. もう一方の手でブルーワーカーを固定します。
3. パックドアを強く手前に引きます。（図G）
4. 適温の湯、もしくはせっけん水でパックドアを洗浄します。その後しっかりとすすいでください。
5. パックドアが取り付けられてあった部分のブルーワーカー内側についてもしっかりと清掃して下さい（ドア取り付け部の側面、上面、下面（ジェットノズル部））。
6. ドアを取り付けます。その際ドア上部を先にマシン側に入れてください。
7. ドア下面を押し込みます（図H）。成功するとカチッと音がします。

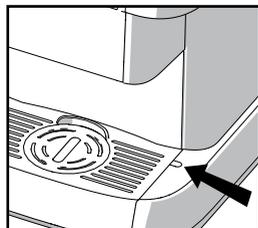


図G

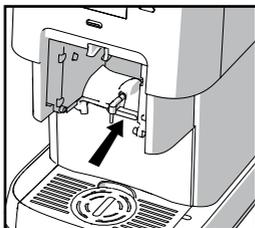


図H

カップセンサーとエアダクトのお手入れ



正しく動作させる為、カップセンサー部を清掃します。



エアダクトの内側にゴミがあった場合は取り除いてください。

注意

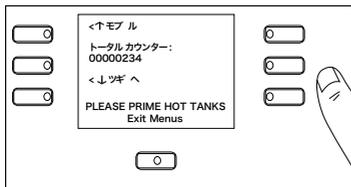
エアダクトをお手入れする際には、パックドアを外してください。

- ・清掃後は、非塩素系の除菌シートなどでブルーワーカー表面を拭き、除菌してください。
- ・芳香除菌シートなどを使用すると飲料においが移る場合がありますので使用しないでください。

ブルーワーカーの使用状況(杯数)の確認

使用状況の確認 (杯数データ)

1. オペレーターモードに入ります (右下と左下ボタンを同時に長押し)。図Aを参照
2. パスワードを入力します (初期設定は右上ボタン4回)。図Bを参照
3. “マニュアルトータルカウンター”(Total Cups)が表示されます。これが抽出杯数になります。



4. “ツギへ”を押すことで、別の画面に切り替えることができます。

コイン2Pカウンター	(有料販売時のみ) 有料販売の2パックドリンク 杯数
コイン1Pカウンター	(有料販売時のみ) 有料販売の1パックドリンク 杯数
クレジット2Pカウンター	無料販売の2パックドリンク 杯数
クレジット1Pカウンター	無料販売の1パックドリンク 杯数
ホットウォーターカウンター	ホットウォーター 杯数
トータルカウンター (パック)	抽出したドリンクパック数合計
マニュアルトータルカウンター(パック)	抽出したドリンクパック数合計。"リセット"でリセット可能。
マニュアルトータルカウンター'	抽出した杯数合計。"リセット"でリセット可能。

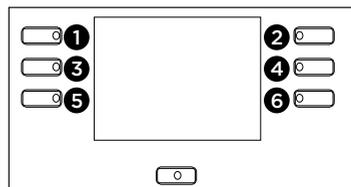
オペレーターモードへのアクセス制限

オペレーターモードのパスワードを変更することが出来ます。新しいパスワードの設定方法は以下のとおりです。

1. オペレーターモードに入ります (右下と左下ボタンを同時に長押し)。図Aを参照
2. パスワードを入力します (初期設定は右上ボタン4回)。図Bを参照
3. “モデル”を押し、“オペレーターパスワード”(Operator Password)を表示させます。
4. “Start”を押します。(図J)
5. 液晶ディスプレイ周辺の6個のボタンより、お好きな順番でボタンを4個押してください (図K)
6. 先ほど押した4個のボタンを再度、同じ順番で押します。これを行うことにより、押した4個のボタンが新しいパスワードになります。
7. “Exit Menu”を押し、この画面を閉じます。



図J



図K

注意

- ・ 設定したパスワードを忘れた場合、ブルーワーカー基板上のスイッチを操作する必要がある為、本体カバーを取り外してサービスエンジニアの方が操作する必要があります。
- ・ 課金設定で使用しない場合にはパスワードは変更しないことを推奨します。
- ・ 変更したパスワードを初期値に戻したい場合は、ご契約先のマースドリンクス (フラビア) 代理店にご連絡下さい。

ブルーワーカーの使用状況(杯数)の確認

節電モード（スタンバイタイムアウト）の設定

節電の為、ブルーワーカーを一定時間操作しなかった場合節電モードに切り替わるよう設定できます。

1. オペレーターモードに入ります（右下と左下ボタンを同時に長押し）。図Aを参照
2. パスワードを入力します（初期設定は右上ボタン4回）。図Bを参照
3. “モデル”または“ツギへ”を押し、“スタンバイタイムアウト”(Standby Timeout)を表示させます。

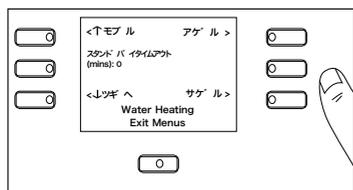


図1

重要

- ・ 節電モードは日本国内では使用しません。特に支障ない場合、設定値は「0」のままでお使いください。
- ・ 設定値が0でない場合には、無操作が続いた場合ブルーワーカーは自動的に節電モードになります。解除するには何かボタンを押して下さい。

4. “モデル”“ツギへ”を押し、ブルーワーカーが節電モードに入る分数を設定します。
5. “Exit Menu”を押し、この画面を閉じます。

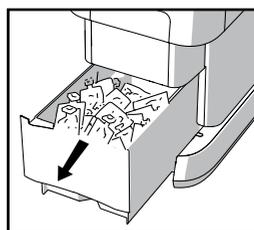
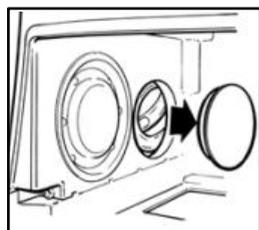
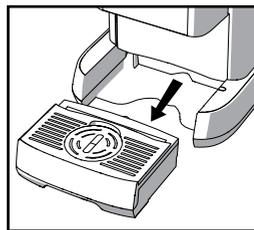
ブルーワーカーの無操作が続いた場合ブルーワーカーは自動的に節電モードになります。このモードでは湯タンクの電源は切れて液晶ディスプレイのバックライトはOFFになり、スタンバイマーク（電源マーク）がゆっくり点滅します。

水タンクの排水

ブルーワーカーを移動させる場合、もしくは一定期間保管する場合は水タンクから排水してください。

注意 排水を行う前に、ブルーワーカーの電源がオフになっていることを確認して下さい。

1. ドリフトトレイとバックピン（ゴミ箱）を外します。
2. 排水チューブは左側面に収納されています。カバーがある場合は取り外します。
3. 排水チューブを取り出します。
4. 栓を抜いて排水します。排水が温かいことがありますので注意してください。
5. 完全に排水させます。
6. 栓をチューブにしっかり差し戻します。
7. チューブを元の位置に戻します。
8. カバーがある場合は元に戻します。
9. バックドアとドリフトトレイを元に戻します



トラブルシューティング(故障かな?と思ったら)

マースドリンクスのブルーワーは、万が一トラブルが生じた場合でも、問題が大きくなりユーザーご自身で解決できることが多くあります。

こんなときは	原因	直し方
「ゴミ箱を空にしてください」のメッセージが表示されている。	使用済みパックがバックピン（ゴミ箱）に一杯になっている。	バックピンを引き出し、使用済みパックを捨てる。必要に応じバックピンの清掃を行う。
「ゴミ箱を確認して下さい」のメッセージが表示されている。	バックピン（ゴミ箱）が正しい位置に戻されていない。	バックピンが正しく元の位置に戻されているか確認する。 メッセージが消えない場合はご契約先のマースドリンクス（フラビア）代理店にご連絡下さい。
「フタを開けて水を入れてください」が表示されている。	水タンクへの給水が必要。	ピッチャー等で給水して使用する場合 ピッチャー等で水タンクへ給水する。 水道直結・外部タンク方式などで自動給水して使用する場合 給水方式を「ガイブハイカン方式」（Plumbed-in）に変更する。
「水タンクが満水になるまでしばらくお待ちください」が表示されている。	水タンクへの給水が必要。	ピッチャー等で給水して使用する場合 オペレーターモードで給水方式を「マニュアルキュウスイ方式」（Jug-Filled）に変更する。 水道直結・外部タンク方式などで自動給水して使用する場合 ドリンク抽出をした後、短い間表示されるのは正常動作であるが、20秒以上表示され続けた場合は、水道ラインまたは外部タンクの給水ラインの確認が必要。
「電源を切り、外部タンクに給水してください。」が表示されている。	水タンクへの給水が必要。	ピッチャー等で給水して使用する場合 オペレーターモードで給水方式を「マニュアルキュウスイ方式」（Jug-Filled）に変更する。 水道直結・外部タンク方式などで自動給水して使用する場合 給水ラインに問題が無い（問題なく給水状態になっているか）確認する。給水チューブに折れ、曲がりがないか確認する。問題ない場合は「再稼動」を押す。
「加温中につきしばらくお待ちください」が表示される。	湯タンク内の水が加温中である。	このメッセージが20分以上表示され続けている場合には、ブルーワーの電源スイッチをオフにしたのちご契約先のマースドリンクス（フラビア）代理店に連絡する。
「湯タンクに注水してください」が表示されている。	湯タンクの準備作業の実施が必要。	本書の「湯タンクの準備」項を参照し、湯タンクの準備を完了させる。
ブルーワー周辺に飲料がこぼれている。	ドリフトレイ内の飲料があふれている可能性がある。	ドリフトレイ内の飲料を捨てる。尚、飲料は熱い場合があるので注意する（10ページ参照）
マグカップがカップスタンドに合わない。	マグカップの高さが高すぎる。	ドリフトレイを外せば高いマグカップでも使用可能（6ページ参照）

トラブルシューティング(故障かな?と思ったら)

こんなときは	原因	直し方
バックドアが閉まらない。	バックドアの取り付け方が正しくなかった。 エスプレッソバックを挿入してしまった。	いったんバックドアを外した後、再度取り付ける(本書「週ごとのお手入れ」を参照) 赤いノズルのエスプレッソバックは使用できない。使用した場合バックつまりが発生する場合がある。バックドアを外し、バックつまりが発生しているかどうか確認する。バックが熱い場合があるので注意。
液晶ディスプレイに何も表示されない。	ブルーワーカーの電源が切れている。 ブルーワーカーの電源コードがコンセントに接続されていない。 ブルーワーカーが節電モードになっている。	ブルーワーカー背面のON/OFFスイッチで、電源ONにする。 抜けていた電源コードをコンセントに接続する。 何かボタンを押し、節電モードを解除する。 問題が解消されない場合、ブルーワーカーの電源スイッチをオフにしたのち契約先のマースドリンクス(フラビア)代理店に連絡が必要。
「オペレーターに連絡してください」が表示されている。	問題内容を確認する場合、右下と左下ボタンを同時に長押しすると、エラーメッセージの詳細が英語にて表示される。	以下の解決方法を試みた後、“Exit Menus”を押し、エラーメッセージが再表示されるかどうか確認する。 エラーコードが下記以外の場合、又、繰り返し発生する場合には、契約先のマースドリンクス(フラビア)代理店に連絡が必要。
エラーコード: 360	Pack Door Timeout (ドアが規定時間内に開閉できなかった場合に出るエラー)	いったんバックドアを外す。外した部分のブルーワーカー内部を丁寧に清掃する(特にドア取付け部の側面)。その後ドアを再度取り付けて動作確認する。
エラーコード: 321 エラーコード: 328	Pack Inject Timeout (バック詰まり。バックにインジェクターを正しく刺せない場合に表示されるエラー) Pack Eject Timeout (バック詰まり。抽出後バックにインジェクターを抜いてバックをゴミ箱に捨てる動作が正しく終了できていない場合に表示されるエラー)	バックピン(ゴミ箱)内の使用済みバックを捨てる。その後、バックドアを外し、バックがガイドレールにぶら下がって(詰まって)いないか確認する。ぶら下がっていたらいったん電源のオンオフを行う。その後回復しない場合は、バックのノズル部を持って90度回した後電源のオンオフを行い、回復するか確認する。バックが熱い場合があるので注意。 上記方法でも回復しない場合は、契約先のマースドリンクス(フラビア)代理店に連絡が必要。
エラーコード: 309 エラーコード: 308	"Button Stuck Down (ボタンが破損して動作していない場合に表示されるエラー) Select Payment System (課金機(ペイポッド)の設定が正しくない場合に表示されるエラー)	全てのボタンが動作するか確認する。 オペレーターモード内、「フリーベンド」が"Disabled"、エンジニアモード内、「Payment System」が"None"に設定されている。 オペレーターモード内、「フリーベンド」を"Enabled"に設定する。

